

⑱

ハトムギ全粒熱水抽出物 (Coix-seed Reactive Derivatives:CRD)

摂取の各種皮膚疾患に及ぼす影響：事例報告

○ 鈴木 信孝¹⁾, 許 鳳浩¹⁾

1) 金沢大学大学院医薬保健学総合研究科臨床研究開発補完代替医療学講座

【はじめに】

我々はハトムギの外殻・薄皮・渋皮を含む全粒熱水抽出エキス (CRD) 摂取における様々な皮膚変化についてエビデンスを集積しており、そのいくつかについてはすでに本学会誌で報告した。今回、CRD 摂取により皮膚炎もしくは皮膚の症状が改善したと思われる例を観察できたので報告する。

【症例報告】

症例 1 は、40 歳女性、子供のころからアトピー性皮膚炎に罹患。増悪を繰り返す手湿疹に対し、CRD 摂取したところ、ほぼ 1 ヶ月半で軽快した。**症例 2** は、25 歳男性、幼少期よりアトピー性皮膚炎に罹患。塗布薬を使用するも、後頸部皮膚の湿疹だけが改善しなかったが、CRD 摂取 1 ヶ月目から徐々に改善し、2 ヶ月目には完治した。**症例 3** は、5 歳男児、全身にアトピー性皮膚炎がみられ、とくに手首内側の湿疹の掻痒がひどく、夜も十分眠れない状態であった。CRD の摂取開始後数日後には、掻痒感が軽減し、湿疹も 2 ヶ月後には著明に改善した。**症例 4** は、29 歳女性、踵部角化症、数年前より季節を問わず、両踵部のかさつきに悩まされ続けていた。摂取 1 ヶ月目から徐々に角化は改善し、3 ヶ月目には完治した。**症例 5** は 45 歳男性、3 年前より右手の第 1 指と 2 指の指間に重度の皮膚炎を認め、掻痒感と皮膚の亀裂を繰り返していた。CRD 摂取開始 1 ヶ月後には亀裂が軽減し、3 - 4 ヶ月後には掻痒感と亀裂は消失した。8 ヶ月後には根治した。**症例 6** は 39 歳女性、いわゆる赤ら顔で悩んでいた。CRD 摂取後、だんだんと顔の赤みは消え、3 ヶ月後には著明改善し、4 ヶ月後には完治した。**症例 7** は 43 歳女性、以前から赤ら顔で悩んでいた。CRD 摂取後、強度の便秘が 1 週間ほどで改善し、2 ヶ月目からは顔の皮膚の状態が改善し、5 ヶ月目には顔の赤みは消失し、透明感のある皮膚に変化した。**症例 8** は、47 歳女性、眼下部の老人性色素斑、以前より顔面の色素斑で悩んでいた。CRD 摂取 1 ヶ月後から徐々に色素沈着が改善し、2 ヶ月後には著明に改善。顔面皮膚も明るく、透明感を有するように変化した。

【まとめ】

CRD の各種皮膚疾患に対する作用機序は複雑である。まず、抗炎症作用は、CRD に含有される chlorogenic acid (CGA), caffeic acid (CA), ferulic acid (FA) によるものと考えている。また、皮膚の色素沈着の軽減作用はハトムギ特有の成分の一つである coixol のチロシナーゼ活性阻害によるものと推察している。さらに、CRD の皮膚角化上皮細胞の分化促進作用や皮膚線維芽細胞の増殖・コラーゲン産生の増加作用についても徐々に明らかとなっている。今後も、様々な皮膚疾患例を集積し、CRD のさらなる作用機序解明につなげたいと考えている。